

メール

「一人ひとりを大切に、違いは宝物」元気で笑顔あふれる学校

にしおか

NO.5



豊中市立西丘小学校「学校だより」 令和3年（2021年）6月1日発行

「メールにしおか」のカラー版は、ホームページをご覧ください。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nisioka/

6月6日は西丘小学校55回目の誕生日です！

6月6日（日）は西丘小学校55回目の創立記念日です。

西丘小学校は昭和42年（1967年）に豊中市で25番目の小学校として東丘小学校内に開校しました。開校当時の児童数は72名でしたが、ちょうど大阪万博の頃と重なり、竹藪だった千里地区はどんどん開発され、児童数も比例して増え続けました。昭和51年（1976年）には1125名を数えます。しかし、その後少子化の影響で平成11年（1999年）には167名（各学年1クラス）にまで減少しましたが、団地の建て替えや高層マンションの建設により急増に転じ、現在は660名になりました。2017年1月に新校舎に移ってから4年半。これからも子どもたちにとって自慢の大好きな西丘小学校でありたいと思います。



6・7月の教育相談（臨床心理士派遣）は

6月8日（火）・6月22日（火）・7月6日（火）14:00～16:30です。お子様のことで気になること、相談したいことがある場合は、遠慮なく学校までご連絡ください。

嬉しいお手紙をもらいました～4年生の女の子から

毎朝、いつも上門・下門であいさつをしてくださってありがとうございます。校長先生が朝立って下さるおかげで、自分からいろんな先生にあいさつができるようになりました。

（感謝しています！！）いつもみんなのためにありがとうございます。

私こそみなさんから元気ももらっています。とてもうれしかったです。



今後の予定変更と追加 ～緊急事態宣言の再延長を受けて～

- ①6月17日（木）18日（金）5年の林間学舎は **9月15日（水）16日（木）に延期**します。
- ②6月9日（水）委員会 6月23日（水）クラブ活動発足 2～4年校外学習場所や日程の変更
- ③8月26日（木）～31日（火）**給食開始**で短縮授業（午後カット）（お知らせが遅くなりました。）
- ④今年度の運動会は10月9日（土）に予定しています。（内容は検討中）昨年度まで運動会の代休は、月曜日にしていましたが、子どもたちの体力面やモチベーションを考慮し、予備日の後に代休を設定します。10月11日（月）通常通り **予備日10月12日（火）、代休13日（水）**

あいさつで
あいてより
いつも
さきに やさしいきもちを
つたえよう



にしおかしょうがっこうの子

にこにこ えがおが あふれる 子
しっかり まなび かんがえる 子
おもいやりが あり やさしい 子
からだと ころを きたえる 子

オンライン授業参観を実施します。

4月に予定していました学級懇談会、5月22日に予定していました土曜参観ともに大阪府に緊急事態宣言が出され中止しました。緊急事態宣言が解除されたら、6月に授業参観日を設定して、ぜひ新しい担任やクラスの様子を見ていただこうと思っていましたが、緊急事態宣言が延長されることから、それも難しそうです。そこで、オンラインの授業参観を実施し、少しでも学級の様子や担任の授業を見ていただく機会をもうけることとしました。（6月15日～18日の間）お手元の端末（PC、タブレットやスマートフォン）か児童が持って帰りますタブレットにて『Cisco Webex Meetings』を使って、視聴していただきます。ただし、前方左右の定点カメラで撮影しますので、お子様が見えにくかったり、音声聞こえにくい場合もあつたりすると思いますがご了承ください。

★参観の日程や当日の操作方法、ミーティング番号については後日お知らせします。

★オンライン授業参観を行うにあたり、承諾書の提出をお願いいたします。

特別の教科「道徳」を研究しています！！

本校では昨年度より、「道徳」で「多面的で多角的な考えを深める授業づくり」をテーマに授業研究に取り組んでいます。

道徳教育では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、児童が多様な感じ方や考え方に接することが大切です。多様な意見交流をもとに、自己を見つめなおし、考えを深め、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を道徳科の時間を中心にして、学校教育全体の中で養いたいと考えています。

昨年行った授業から・・・2年生で「親切・思いやり」をとりあげた場合、「親切にすることはいいことだ」と概念的にはわかっている、親切とは「〇〇してあげることだ」と相手に一方的に与える行為だと捉えていることが多い。道徳の授業ではその先、親切な行為を生むおおもとの心に気づかせ、親切にすることの大切さについて考えを深める。おおもとの心とは、相手の立場に寄り添うことで自然と湧き出てくる気持ちである。その心を動かして自分ができることをするからこそ、親切な行為には意味があり、相手も自分も嬉しくなることを実感させる。

・・・3年生「規則の尊重」の場合、「きまりを守ること」はいいことだという認識は誰もが持っている。「きまりだから守る」「きまりを破るとおこられるから」「みんな守っているから」という他律的な理由ではなく、きまりを守ることの良さに気づかせる。みんなが守るべきよりよい生活のために大切な了解事項をきまりにしたのだという事を理解し、「きまり」がなくても望ましい行動がとれるようになること。

わかりきっていることを子どもたちに問うていくのではなく、「自分はどのように考えるのか、自分の経験から話す、また友達の意見を聞いてさらに深く考えてみる。」です。道徳の授業に欠かせないのは、どんなことでも言い合える集団であることです。言い換えると一人ひとりにとってクラスが居心地の良い場所ではなくてはならないということです。